

第2号報告 2024年度事業計画

コロナ禍の状況から色々な行事が回復してきており、今年度は色々と事業展開をしていきたいと思っております。学術事業では研修会や講習会などの開催予定回数がコロナ禍以前ほどに増えた計画となります。また、衛生思想事業につきましても各研究班、関連団体と連携しながら計画通り事業を進めてまいります。特に府民、市民の皆様へ向けた活動として「検査と健康展」や「子宮頸がん啓発活動」などを積極的に行ってまいります。2019年から施行された「働き方改革関連法」に関して、医師への適応も2024年4月より開始されました。これに伴い「タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」を本年度も継続して開催し、臨床の場で臨床検査技師が行える行為が広がることで活躍できる技師を増やしていきたいと考えています。

来年度には日臨技近畿支部医学検査学会を京都府主催で行うことが決まっています。今年度より少しずつ準備を行い良い学会にしたいと考えています。会員の皆様におかれましては本年度の研修会、講習会にも積極的にご参加いただき、知識、技術を上げ、ぜひ日臨技近畿支部医学検査学会では一般演題などにも積極的にご発表頂ければと思います。

1. 衛生思想事業

1-1京都府医療推進協議会主催イベント

昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントは開催されませんでした。再開されれば社会公益活動の一環として協力していきます。

1-2子宮頸がん啓発活動LOVE49

子宮頸がんに関する啓発や検診の受診率アップなどは京都府民の疾病予防に大切なことと考えており、啓発活動を今年度も継続します。

1-3全国検査と健康展京都会場（日臨技公益委託事業）

臨床検査と臨床検査技師のことを広く知ってもらい、健康診断の関心を高め、健康増進につなげてもらうことを目的として開催します。一人でも多くの方に参加いただけるように創意工夫を凝らした企画をします。

1-4府・市民公開講座

臨床検査技師の知名度向上や府民・市民が臨床検査の理解を深めていただくため、継続的に開催したいと思います。地域社会の人々の健康の保持および増進をはかり、疾病を予防するための企画を行います。

1-5あやべ食育・すこやかフェスティバル

行政主催のイベントに関わることで地域社会の人々の健康の保持および増進をはかることに加えて、臨床検査の啓発活動や知名度向上も期待できます。行政と相談しながら積極的に企画・開催します。

1-6舞鶴市糖尿病講演会

糖尿病の理解を深めて健康増進をはかることに加えて、超音波検査など我々が持つ検査の知識や技術を使った活動を行うことで臨床検査技師の知名度向上も期待できることから、引き続き企画・開催します。

2. 精度管理事業

2-1精度管理事業

京都府医師会と合同で精度管理調査を実施し、京都府内の医療機関および衛生検査所の臨床検査の実情を把握し、標準化を進めつつ教育問題なども活用してレベルアップを図ります。また、調査項目や申し込みコースについて検討を行い、地域の技師会の特色としてきめ細やかな対応を目指します。昨年度の様々な課題を解消し、多くの施設が参加しやすく意義深い精度管理調査となるよう担当理事、各研究班精度管理担当者が協力し、京都府医師会とも協調して開催します。

2-2 合同報告会

精度管理調査事業は今年度も引き続き京都府医師会と合同で実施し、参加施設にとって意味のある精度管理調査となるよう、現状把握、標準化推進の補助、検査レベル向上を目指し、各研究班合同での報告会を企画・開催します。

2-3 京都府・京都市 京都衛生検査所精度管理専門家会議

京都衛生検査所精度管理専門家会議に出席、衛生検査所への立入検査に同行し、精度管理向上に協力します。

3. 研究講習事業

3-1 学術研究班

臨床検査の知識・技術の向上を支援する事業計画を作成しました。昨年度に続き、実技講習会も各研究班で企画しています。Webを活用した形式で計画的な事業を展開する予定ですが、現地参加の可能な事業も多数ありますので、ご都合がつく場合は是非とも現地へお越しく下さい。

A. 【生理検査研究班】

今年度も生理検査研究班では現地参加をベースにWebを取り入れ、より多くの会員が参加できるようハイブリッド形式での研修会を開催していきたいと思っております。昨年度に引き続き、実技講習会の開催や、他府県技師会や他の研究班との共同開催などに向けて積極的に取り組み、会員の皆様に充実した学術情報を提供していきます。

研修会	8回
講演会	1回
実技講習会	1回
会場	京都保健衛生専門学校など
連絡先	多田 淳史（京都工場保健会）

B. 【輸血検査研究班】

安全で適正な輸血療法を行うために必要な輸血検査の基礎知識から最新の知見や動向を取り入れた内容を企画します。輸血検査に関しては、近年、全自動輸血検査装置の普及により用手法（試験管法）での機会が減少しつつあります。しかし、機器の故障や予期せぬ反応に遭遇した場合は用手法で実施することになります。今年度は実技講習会の開催を予定します。京都府下の技師の輸血検査向上に貢献できるよう研究班一同で研修会を開催します。

研修会	4回
実技講習会	2回
会場	京都保健衛生専門学校など
連絡先	相田 幸雄（京都第二赤十字病院）

C. 【臨床化学・血清検査研究班】

研修会は臨床化学免疫血清に携わって間もない技師でも気軽に参加できる研修会を実施します。8月(9月)のサマー研修会はwebハイブリッド形式にて臨床化学の基礎、データ判読、トピックスを含めた幅広い内容にします。2月の実技研修会（みやこ研修会）では、用手法で分析の基礎を学べる研修会を予定していますが新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら開催の可否を決定します。

研修会	3回
研修会（有料）	1回
実技講習会	1回

会場：京都保健衛生専門学校など
 連絡先：岡崎 一幸（京都大学医学部附属病院）

D. 【血液検査研究班】

血液検査研究班では血液学検査や凝固・線溶検査、血液疾患について基礎から最新情報まで幅広く学ぶことができる講演会を開催いたします。講演会では講師・参加者全員で活発なディスカッションが行える症例検討、認定血液検査技師に関する情報提供も企画いたします。昨年度は京都府が近畿支部血液研修会の担当となった為、同一内容となる顕微鏡実技講習会の開催を行いませんでしたが、今年度は開催し、会員の形態学スキル向上、細胞判定標準化推進を図ります。

講演会 2回
 実技講習会 1回
 会場：京都保健衛生専門学校、キャンパスプラザ京都など
 連絡先：田辺 祐也（京都第二赤十字病院）

E. 【病理・細胞検査研究班】

感染対策を十分に行い、会場参加型のみの企画とせずハイブリッド型やWeb研修を積極的に取り入れ、病理・細胞検査に必要な知識や技術の習得、向上を目指し、研修会・講演会・実技講習会を企画します。病理・細胞検査の横断的な内容やマネージメントを含めた総合的な能力の習得、他府県やメーカーとも協力し、ゲノム医療関連を含む先進的な内容、新しい情報・知識・技術も取り入れられるような企画を考えます。後進の育成に役立つ内容や企画を考え、開催曜日や会場を厳選し、できるだけ多くの方が参加しやすいよう考慮し、活発な活動を行います。

研修会 3回
 実技講習会 2回
 会場：京都府立医科大学附属病院、京都保健衛生専門学校など
 連絡先：竹腰 友博（京都市立病院）

F. 【一般検査研究班】

基礎的なことから応用まで学べるような基礎研修会の開催を企画します。京臨技精度管理調査にて理解いただけていないと思われる内容も含め、参加者の知識・技術の向上に役立つような研修会にしていきたいと思っております。また、昨年度の出来なかった髄液検査についての研修会も実施いたします。

研修会 6回
 会場：京都保健衛生専門学校など
 連絡先：藤内 千歳（京都第二赤十字病院）

G. 【微生物検査研究班】

AMR（薬剤耐性）やAS（抗菌薬適正使用支援）に対応できるよう最新の情報を発信できる研修会や、感染症診断・治療に役立つ企画、医療関連感染対策、感染対策地域連携に貢献できる幅広い知識を得られるような学術活動を目指します。京都府下から認定微生物検査技師をより多く輩出できるよう実践に即した研修内容にし、知識と技術を確実に習得できる研修会や実技講習会を行います。

研修会 2回
 講演会 1回
 実技講習会 1回
 会場：京都保健衛生専門学校など
 連絡先：山田 幸司（京都府立医科大学附属病院）

H. 【情報システム研究班】

臨床検査業務は、検査技術の向上を目指すことが大切ですが、検査の依頼を受けて検査結果を返すまでの一連の流れを実現するために必須となる情報システムの維持管理も重要なことといえます。臨床検査の重要性が高まり、大量のデータを効率的に扱うことについても、情報システムの担う役割は大きいものとなっています。情報システム研究班では、情報をシステムを利用してさらに効率的な業務を遂行できるようになるための研修会を開催する予定です。また、研修会の情報や、臨床検査に関する最新の知見をお知らせするメールマガジンを、引き続き配信してまいります。

講演会 1回
会場：京都保健衛生専門学校など
連絡先：増田 健太（京都大学医学部附属病院）

I. 【遺伝子検査研究班】

昨年度は、研修会・講習会および実技講習会を開催し、遺伝子検査の精度保証や新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の遺伝子検査装置の有効活用法など、基礎から応用までの情報提供を行いました。今年度は、日々発展するがん遺伝子領域や感染症領域の情報を発信し、京都府の遺伝子検査技術の向上に努めます。

研修会 1回
講演会 1回
実技講習会 1回
会場：京都保健衛生専門学校など
連絡先：岩根 文男（京都岡本記念病院）

J. 【北部検査研究班】

各分野の基礎的な知識や技術、最新の話題や興味のある内容で、会員が参加しやすい研修会を開催します。また情報を的確に捉え、各会員、各施設が共有できる話題を提供します。

研修会 3回
実技講習会 1回
会場：舞鶴赤十字病院、交流プラザふくちやまなど
連絡先：園田 真之（丹後中央病院）

K. 【南部研究班】

会場での開催も行いつつWebでの研修会も開催し、現地参加が難しい方にも積極的に参加頂ける研修会を企画致します。生理検査・検体検査分野における基礎的な知識の習得および最新の話題や興味ある内容を提供致します。京都府南部の施設に勤務されている方の情報共有の場になるような活動を開催致します。

研修会 2回
実技講習会 1回
会場：京都山城総合医療センター、宇治徳洲会病院、田辺中央病院など
連絡先：馬場 昭好（田辺中央病院）

L. 【チーム医療研究班】

チーム医療で活躍する臨床検査技師を目指し、必要な知識や役立つ情報を発信します。研修会としては検査データから病態を読み解くR-CPCや災害支援活動、及びPOCT・ワクチン接種・救急などタスクシフトに関する研修会などを企画しています。また、実技講習会も取り入れ、知識と技術を向上させる事業を展開していきます。

研修会 4回
講演会 1回
実技講習会 1回
会場：京都保健衛生専門学校 など
連絡先：山田 雅（京都市立病院）

4. 広報事業

4-1会誌

会誌 2024. Vol. 51 「令和6年度総会号」（令和6年8月1日発行予定）

4-2会報（ニュースレター）

年3回発行を予定しています。

会員へのアンケート結果をもとに、メルマガやホームページと連携し技師会の活動状況を発信していきます。

4-3ホームページ

京臨技主催の研修会情報や関連団体の行事に関する最新情報を迅速に掲載します。また、デジタル会員証システムが現地参加の際に役立つよう広報を行います。

会員からの問い合わせについては「お問い合わせフォーム」を設置して利便性を高め、担当理事から迅速に回答します。また、よくある問い合わせについてすぐに分かるような仕組みの検討を行います。

4-4メールマガジン

発行数が1100号を超えたメールマガジンについて、引き続きほぼ毎週発行します。

5. 会員向け啓発事業

5-1定時総会

会員が参加しやすいように、電磁的投票・Web参加を可能とし、京臨技定款に沿って定時総会を開催します。

5-2新入・転入会員研修会

日臨技・京臨技の組織と運営の説明、また各研究班の紹介を主にして企画・開催します。新入・転入の会員だけでなく、多くの参加者の情報交換および交流の場になる研修会を目指します。

5-3京臨技北部学術発表会

「若手技師の登竜門」である演題発表をはじめ、学術企画および未来につながる企画の構成で開催します。また、情報交流会を開催し、活発な意見交換、情報交換により、会員の親睦が深まる企画を準備します。

5-4施設連絡責任者会議

技師会の活動報告とその時々の医療情報を話題に取り上げ、施設連絡責任者の方々と情報交換ができる貴重な機会となるよう企画・開催します。

5-5京都病院学会

京都の医療を支える活動の一環であり、また他部門の業務を理解する貴重な事業であるため、京臨技として参加・協力していきます。今年度は、第65回全日本病院学会in京都が開催されるため京都病院学会は開催されません。第65回全日本病院学会in京都より実務の協力要請があるかは未定ですが、多くの会員に参加していただけるよう広報活動を行います。

5-6都道府県ニューリーダー育成研修会・初級職能開発講習会

本事業は技師会や職場などで活躍できる、次世代を担うリーダーの育成をテーマに企画されています。今後の社会情勢や臨床で活躍するためには、医療情勢や臨床検査技師の未来像、組織目標達成に向けた考え方や、現状分析、課題解決力、人材育成やコミュニケーション力を学ぶことが重要となります。これらの能力開発と人材確保を目的として、日臨技と歩調を合わせて開催を検討します。

5-7 第5回京都医学検査学会

毎年2月23日に開催している京都発の学会であり、第5回目を開催します。研究発表や育成企画及び情報交換により、京都府下の臨床検査技師の発展を目的としています。また、これから学術活動をはじめようとする会員の一助となるような学会でありたいと考えておりますので、学会発表などの足掛かりとしてご活用ください。各施設からの多数の発表、参加をお持ちしております。

5-8タスクシフト実技研修会

2か月間隔で計6回開催を目指します。

6. 共催・後援・協賛・協力事業

共催・後援・協賛・協力事業を会員利益となるよう積極的に取り組みます。

7. 総務事業

会の組織力を強化するために会員数の増加を目指します。そのために各事業部や研究班と連携を取り、京臨技運営が円滑に進むようにします。会計処理については、法人の公益性を追求、公益目的支出計画に準じた会計処理を行い、外部税理士法人による確認を行い適切な処理をいたします。